

Voice REC Pad

通話録音装置 〈ボイス・レック・パッド〉

取扱説明書



このたびは、通話録音装置 Voice REC Pad をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、
理解してからご使用ください。

お読みいただいた後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

本装置は日本国内用に設計されています。海外では使用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本取扱説明書に記載された内容は、将来予告無く変更することがあります。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	注意すべき内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
	してはいけない内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
	製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起る可能性を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	接触すると感電などの傷害が起る可能性を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	製品を分解することで、感電などの傷害が起る可能性を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	しなければならない内容を示しています。 具体的な内容は文章や絵で示します。
	使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 警告

	本機がぬれたり、水が入らないようにしてください。 火災・感電・故障の原因となります。
	電源コードの上に物を乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。 コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	付属のACアダプタ以外は使用しないでください。 また、付属のACアダプタを本機以外で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
	風呂場や加湿器のそばなど、湿気の高いところでは使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出した場合は、本体・ケーブル・ACアダプタなどには触れないでください。 感電の原因となります。
	本機を分解・改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
	表示された電源電圧(交流100V)で使用してください。 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
	ACアダプタのプラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、ACアダプタ本体を抜いてから、プラグ上のほこりを取り除いてください。 ACアダプタのプラグの絶縁低下により、火災の原因となります。
	電源コードが傷んだ場合(芯線の露出、断線など)は、交換をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 警告

	<p>煙が出たり、異臭や異音がするなどの異常が起きた場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 煙などが出なくなるのを確認して、弊社に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険です。絶対におやめください。</p>
	<p>機器の内部に水などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。 ただちに弊社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>異物が機器の内部に入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。 ただちに弊社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>動作が異常など故障の場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。 ただちに弊社に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>本機を落としたり、ケースなどを破損した場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。 ただちに弊社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

⚠ 注意



購入後、定期的な点検や内部の掃除は弊社にご相談ください。
本機の内部にほこりがある場合は、火災・故障の原因となります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙、湯気、水滴が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となります。



直射日光のあたる所、暖房器具の近くに置かないでください。
変色・変形・故障の原因となります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。



ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ACアダプタを抜く場合は、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。



ACアダプタのプラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。
発熱して火災の原因となります。
電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



ACアダプタのプラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全の場合は、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意



本機を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
また、外部の接続コードを外したことを確認し、移動してください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



お手入れをする場合は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。
感電の原因となります。



本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
火災の原因となります。

使用上のご注意

- 本機に付属のACアダプタを必ずお使いください。
- 本機に付属のACアダプタを他の機器に接続すると、故障や事故の原因となることがあり危険です。本機以外には絶対に接続しないでください。
- 本機は日本国内用に作られたものです。
必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。電源の異なる外国ではご使用になれません。
- 本機は屋内用に作られたものです。
必ず屋内でお使いください。屋外ではご使用になれません。
- 本機に電源スイッチはありません。メンテナンスの際は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機は、湿気やほこりの多い場所、潮風のあたる場所、振動の多い場所を避け、以下の条件内でお使いください。
温度:0℃～40℃
湿度:30%～90%(結露なきこと)
- 本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- 停電しても通話はできますが、本機の動作は停止します。
停電時に録音していた録音データは保存されないことや破損することがあります。
- 録音動作中にACアダプタをコンセントから抜いて電源を落とすと、故障や録音データが破損することがあります。
- 本機の故障・誤作動・不具合等による録音(録音データ含む)および通話における損害につきましては、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本機は、受話器からの音声を録音する装置の為、呼び出し音、プッシュ音等会話以外の音声も録音いたします。

SDカードについて

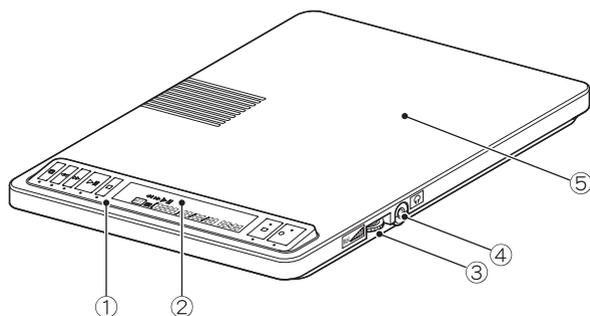
- SDカードは、本機専用としてお使いください。
SDカードに本機以外のデータが混在すると、故障や誤動作することがあります。
- 他の機器で使用したSDカードは、必ずパソコンでフォーマットしてからお使いください。
- SDカード内のファイル名や内容を変更すると、故障や誤動作することがあります。
- SDカードを脱着する際は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
ACアダプタをコンセントから抜かずにSDカードを脱着すると、故障や録音データが破損することがあります。
- SDカードの定期的なバックアップをお勧めします。
SDカードが認識できなくなった場合や誤って録音データを消去した場合にバックアップデータから復旧することができます。
- SDカードは推奨品をお使いください。
推奨品以外のSDカードは、正しく動作しないことがあります。
推奨品は弊社ホームページにてご確認ください。
<http://www.lets-co.co.jp/>

もくじ

安全にお使いいただくために.....	1
安全上のご注意.....	1
使用上のご注意.....	6
SDカードについて.....	6
各部の名称.....	8
本体上面・右側面.....	8
本体左側面・背面.....	8
操作パネル.....	9
本機の設定.....	10
付属品の確認.....	10
電話機の確認.....	10
盗難防止用チェーンロックについて.....	10
接続方法.....	11
本機の設定.....	12
時刻設定.....	12
録音モード.....	13
データ消去方式.....	14
再生禁止.....	15
データ初期化(SDカードのフォーマット).....	19
本機の操作.....	20
通話の録音.....	20
自動録音モード.....	20
手動録音モード.....	21
録音データの再生.....	22
直前録音データの再生.....	22
履歴録音データの再生.....	23
再生中の一時停止.....	24
再生中の早送り・早戻し.....	24
スキップ再生.....	24
録音データの保護.....	25
録音データの消去.....	26
録音データの履歴表示.....	27
全履歴表示.....	27
保護履歴表示.....	27
履歴表示からのデータ選択.....	27
録音レベルの調整.....	28
録音レベル確認方法.....	28
録音レベル調整方法.....	30
パソコンの操作.....	31
パソコンの環境.....	31
SDカードのフォーマット.....	31
パソコンへのバックアップ(録音データ保存).....	31
パソコンでの録音データ再生.....	32
付録.....	33
故障かな?と思ったら.....	33
エラーコード表.....	33
仕様.....	34
製品保証規定.....	37
保証書.....	38

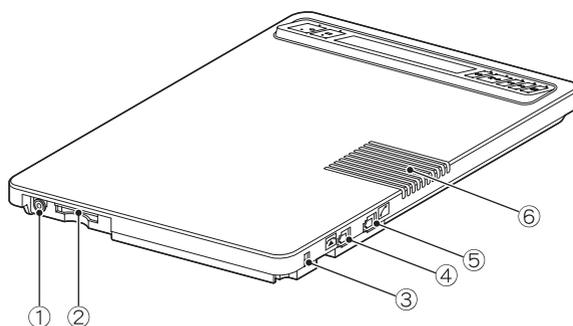
各部の名称

本体上面・右側面



名 称	名 称
① 操作パネル	④ イヤホンジャック
② 液晶ディスプレイ	⑤ 電話機設置スペース
③ 再生音量ボリューム	

本体左側面・背面



名 称	名 称
① DCジャック(付属ACアダプタ接続)	④ 電話機接続用モジュージャック
② SDカード挿入口	⑤ 受話器接続用モジュージャック
③ セキュリティースロット	⑥ スピーカ

操作パネル



履歴/メニュー 早戻し 早送り 再生/決定 停止/クリア

保護 録音/停止

	名称		名称
①	履歴/メニューボタン	⑤	停止/クリアボタン
②	早戻しボタン	⑥	液晶ディスプレイ
③	早送りボタン	⑦	保護ボタン
④	再生/決定ボタン	⑧	録音/停止ボタン

本機の設置

付属品の確認

設置の前に、以下の付属品が揃っていることをご確認ください。

- モジュラーコード
- ACアダプタ
- SDカード (256MB) (または miniSD+アダプタ、または microSD+アダプタ)
- 取扱説明書(本書)

梱包には万全を期しておりますが、万一不足がありましたら、弊社までご連絡ください。

電話機の確認

設置の前に、本機と接続可能な電話機であることをご確認ください。

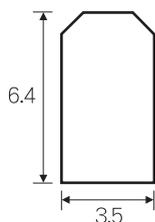
- 電話機本体と受話器のモジュラージャックが4極4芯であること
- 本機上に電話機本体が安定して置けること
- 受話器にダイヤル操作部が付いてないこと
- 電話機本体と受話器が一体式でないこと
- ワイヤレス電話機でないこと

ご利用頂く電話機によっては、上記以外でも正常に動作しない機種もあります。

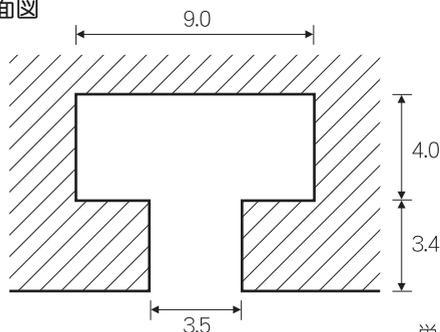
盗難防止用チェーンロックについて

本機には盗難防止用チェーンロックのために、セキュリティーロットが設けられています。セキュリティーロットのサイズは下図のとおりです。サイズに応じたチェーンロックをご使用ください。

正面開口部



断面図

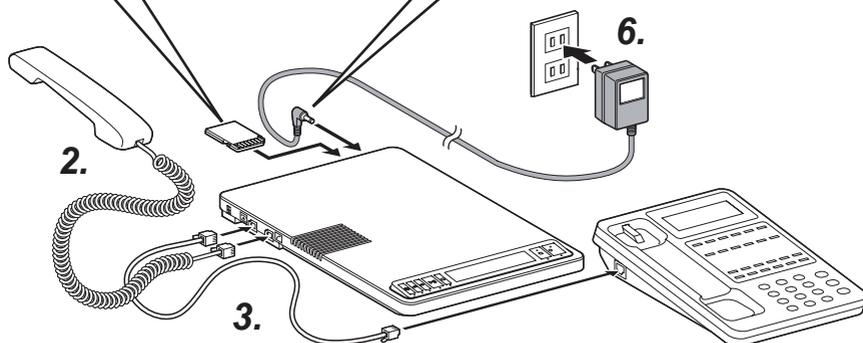
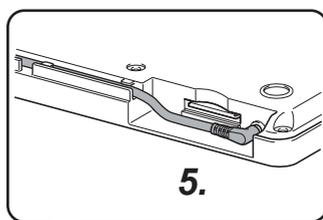
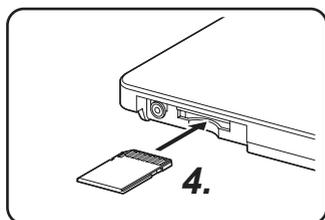
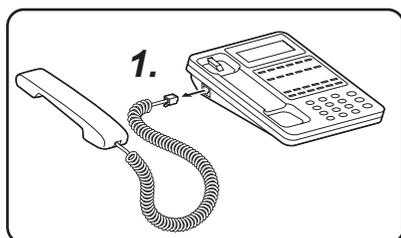


単位:mm

接続方法

以下の手順で電話機に本機を接続してください。

1. 受話器のモジュラーコードを電話機本体から外します。
2. 受話器のモジュラーコードを本機を受話器接続用のモジュラージャックに接続します。
3. 付属のモジュラーコードを本機の電話機接続用のモジュラージャックと電話機本体に接続します。
4. 付属のSDカードを本機に挿入します。
5. 付属のACアダプタを本機のDCジャックに接続し、DCジャックのコードを本機底面のコード収納部にはめ込みます。
6. ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込みます。



本機の設定

時刻設定

日付と時刻を設定します。

工場出荷時は、日付と時刻の設定はされていません。

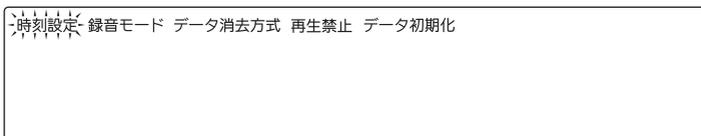
1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。

ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。

「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。

2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「時刻設定」メニューを選択します。

選択されたメニューが点滅します。



3. 「再生/決定(▶▶)」ボタンで「時刻設定」を開始します。

「年」の項目が点滅します。



4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「年」を入力します。

西暦の下2桁で入力します。

「年」の入力で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、メニュー一覧に戻ります。

5. 「再生/決定(▶▶)」ボタンを押します。

「年」が設定され、次に入力する「月」の項目が点滅します。



6. 同様の手順で「月」「日」「時」「分」を入力します。

「時」は24時間制で入力します。

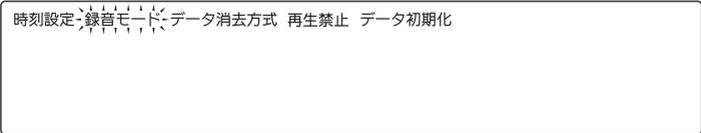
「分」の設定後、メニュー一覧に戻ります。

「月」「日」「時」「分」の入力で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、前の項目に戻ります。

録音モード

録音記録方式を設定します。
工場出荷時の設定は「通常録音」です。

1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。
ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。
2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「録音モード」メニューを選択します。
選択されたメニューが点滅します。



時刻設定 録音モード データ消去方式 再生禁止 データ初期化

3. 「再生/決定(▶▶)」ボタンで「録音モード」の設定を開始します。
「通常録音」の項目が点滅します。



録音モード
通常録音
長時間録音
PC再生用

4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「録音モード」を選択します。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、「録音モード」を設定せずにメニュー一覧に戻ります。

注意事項

録音データをパソコンで再生する場合は、必ず「PC再生用」モードを選択してください。
「通常録音」や「長時間録音」モードで録音されたデータはパソコンで再生できません。

5. 「再生/決定(▶▶)」ボタンを押します。
「録音モード」が設定され、メニュー一覧に戻ります。
メニュー一覧から「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

■録音時間

本機の対応SDカードは256MB～2GBです。
録音モードとSDカード容量による録音時間は以下のとおりです。

録音モード(音質)	SDカード			
	256MB(付属品)	512MB	1GB	2GB
通常録音(○)	約17時間	約34時間	約68時間	約136時間
長時間録音(△)	約34時間	約68時間	約136時間	約272時間
PC再生用(◎)	約8.5時間	約17時間	約34時間	約68時間

注意事項

- ・上記の録音時間は目安であり、使用するSDカードにより多少の誤差があります。
- ・録音時間が残っていても、録音データが5000件を超えると録音できなくなります。

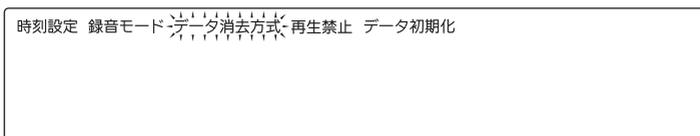
データ消去方式

録音中にSDカードの容量が不足した場合や録音データ件数が5000件に達した場合のデータ消去方式を選択します。

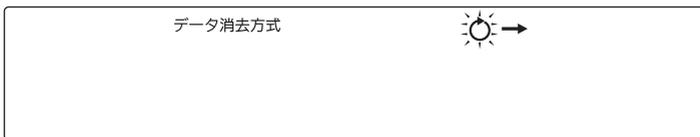
工場出荷時の設定は「自動消去無し」です。

データ消去方式	機能
自動消去有り	古い録音データから順に自動消去します。 ただし、保護されている録音データは消去されません。 すべての録音データが保護されている場合は「自動消去無し」と同様になります。 ただし、手動録音時に「プレ録音機能」(→P.21)が動作している場合は、自動消去せずに録音停止します。
自動消去無し	ディスプレイの残録音時間が10分になると点滅を開始し、容量が不足すると「FULL」が表示され、録音を中止します。

1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。
ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。
2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「データ消去方式」メニューを選択します。
選択されたメニューが点滅します。



3. 「再生/決定(▶▶)」ボタンで「データ消去方式」の設定を開始します。
「○」が点滅します。



4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「○」または「→」を選択します。
「○」: 自動消去有り
「→」: 自動消去無し
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、「データ消去方式」を設定せずにメニュー一覧に戻ります。
5. 「再生/決定(▶▶)」ボタンを押します。
「データ消去方式」が設定され、メニュー一覧に戻ります。
メニュー一覧から「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

再生禁止

4桁のパスワードを入力して再生を禁止することができます。
ただし、再生禁止中でも録音は可能です。
工場出荷時の設定は「再生許可」です。

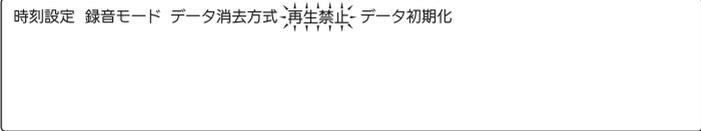
注意事項

再生禁止は、本機での再生のみが禁止され、パソコンでの再生時はパスワードが解除されます。

■パスワードの設定

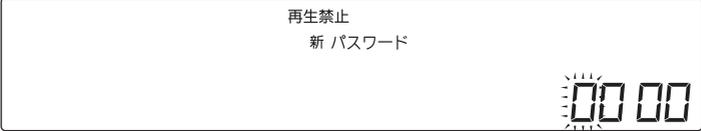
初めてお使いになるときやSDカードの初期化後など、パスワードが登録されていない場合は、新規にパスワードを登録します。
なお、パスワードはSDカードに登録されます。

1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。
ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。
2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「再生禁止」メニューを選択します。
選択されたメニューが点滅します。



時刻設定 録音モード データ消去方式 **再生禁止** データ初期化

3. 「再生/決定(▶▶)」ボタンで新規パスワードの入力を開始します。
ディスプレイに「新 パスワード」が表示され、パスワードの1桁目が点滅します。



再生禁止
新 パスワード

00 00

4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンでパスワードの1桁目を入力します。
パスワードの1桁目で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、メニュー一覧に戻ります。
5. 「再生/決定(▶▶)」ボタンを押します。
パスワードの1桁目が設定され、2桁目が点滅します。

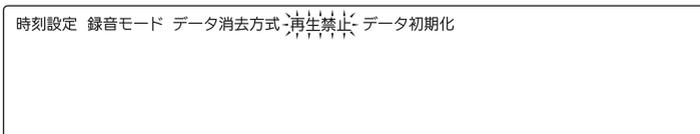
- 6. 2～4桁目を設定します。**
4桁目の設定後、確認パスワード入力のためパスワードの1桁目が再度点滅します。
2～4桁目で入力中に「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、前の桁に戻ります。

- 7. 再度、パスワードを入力します。**
4桁目の設定後、1回目のパスワードと一致した場合は、メニュー一覧に戻ります。
一致しない場合は、要再設定となり手順4に戻ります。
メニュー一覧から「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

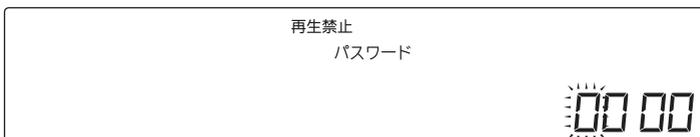
■再生禁止／再生許可の設定

パスワードを入力することで再生禁止と再生許可が切り替わります。

- 1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。**
ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。
- 2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「再生禁止」メニューを選択します。**
選択されたメニューが点滅します。



- 3. 「再生/決定(▶||)」ボタンでパスワードの入力を開始します。**
ディスプレイに「パスワード」が表示され、パスワードの1桁目が点滅します。



- 4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンでパスワードの1桁目を入力します。**
パスワードの1桁目で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、メニュー一覧に戻ります。

5. 「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

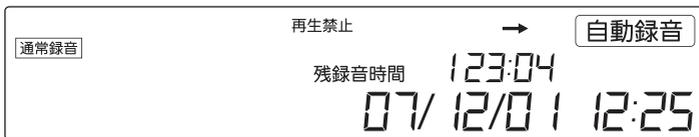
パスワードの1桁目が設定され、2桁目が点滅します。

6. 2~4桁目を設定します。

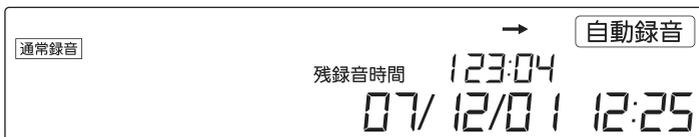
4桁目の設定後、登録されているパスワードと一致した場合は、メニュー一覧に戻ります。一致しない場合は、再入力となります。

メニュー一覧から「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

待機モードに戻ると再生禁止に切り替わった場合は、ディスプレイに「再生禁止」が表示され、再生操作ができなくなります。



再生許可に切り替わった場合は、ディスプレイの「再生禁止」は消去され、再生操作が可能になります。



■パスワードの変更

現行のパスワードを変更することができます。

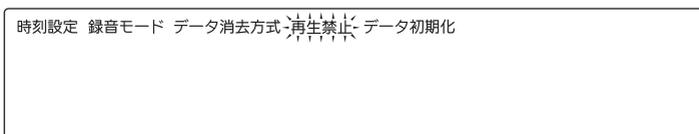
1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。

ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。

「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。

2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「再生禁止」メニューを選択します。

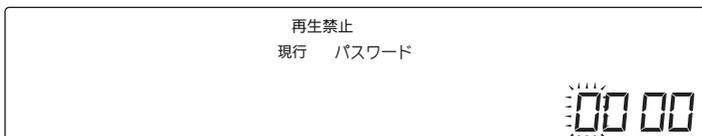
選択されたメニューが点滅します。



3. 「再生/決定(▶||)」ボタンでパスワード入力画面が表示されます。

4. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。

ディスプレイに「現行 パスワード」が表示され、パスワードの1桁目が点滅します。



5. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンでパスワードの1桁目を入力します。

パスワードの1桁目で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、メニュー一覧に戻ります。

6. 「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

パスワードの1桁目が設定され、2桁目が点滅します。

7. 2~4桁目を入力します。

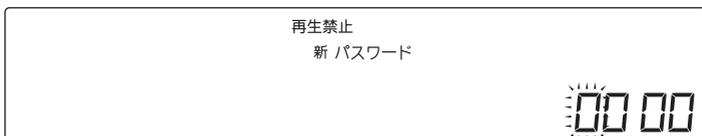
4桁目の設定後、登録されているパスワードと一致した場合は、ディスプレイの「現行 パスワード」表示が「新 パスワード」に切り替わり、新パスワード入力のためパスワードの1桁目が点滅します。

一致しない場合は、ディスプレイの表示は「現行 パスワード」のまま、再入力となります。

8. 新パスワードを入力します。

4桁目の設定後、確認パスワード入力のためパスワードの1桁目が再度点滅します。

2~4桁目で「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、前の桁に戻ります。



9. 再度、新パスワードを入力します。

4桁目の設定後、1回目の新パスワードと一致した場合は新パスワードが設定され、メニュー一覧に戻ります。

一致しない場合は、要再設定となり手順8に戻ります。

メニュー一覧から「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

データ初期化 (SDカードのフォーマット)

本機で使用したSDカード内の全録音データを消去する場合は初期化が必要です。ただし、他の機器で使用していたSDカードの場合は、本機での初期化ではなくパソコンでのフォーマットが必要です。

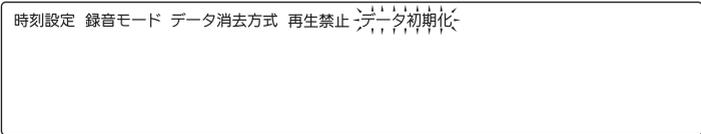
また、新しく購入した推奨SDカードは、「FAT16」でフォーマットされていますので、初期化は不要です。

参照 パソコンの操作 SDカードのフォーマット (P.31)

注意事項

データ初期化中にSDカードの抜き差しやACアダプタを抜くことは、絶対にしないでください。

1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを3秒以上押します。
ディスプレイにメニュー一覧が表示されます。
「停止/クリア(■)」ボタンを押すと設定を終了し、待機モードに戻ります。
2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで「データ初期化」メニューを選択します。
選択されたメニューが点滅します。



時刻設定 録音モード データ消去方式 再生禁止 **データ初期化**

3. 「再生/決定(▶▶)」ボタンでデータ初期化処理へ移行します。
ディスプレイに「消去」が表示されます。



消去

データ初期化

4. 初期化してよければ、「再生/決定(▶▶)」ボタンを3秒以上押します。
初期化を開始し、正常に終了すると下図の待機モードに戻ります。



通常録音

→

自動録音

残録音時間

123:04

07/12/01 12:25

「再生/決定(▶▶)」以外のボタンを押すと、初期化せずにメニュー一覧に戻ります。

注意事項

- SDカードが挿入されていない場合は、ディスプレイに「カードなし」が表示されます。SDカードを挿入してください。
- 初期化に失敗した場合は、ディスプレイに「ERR2」が表示されます。再度初期化してください。それでも初期化できない場合は、SDカードを取り替えてください。
- 保護された録音データも消去されます。
- 時刻などの設定内容は消去されませんが、「再生禁止」のパスワードはSDカードに記憶されているため、消去されます。

本機の操作

通話の録音

録音データには、日付や時刻が記憶されるため、日付・時刻が設定されていることをご確認ください。

参照 本機の設定 時刻設定(P.12)

注意事項

録音動作中にSDカードの抜き差しやACアダプタを抜くことは、絶対にしないでください。

自動録音モード

通話時に音声を検知すると「☎」マークが点灯し、自動的に録音が始まり、音声途絶えると録音を終了します。

注意事項

電話機の種類によっては、正常に自動録音機能が動作しない場合があります。その際は「手動録音」をご利用ください。また、録音レベルを調整することで改善される場合があります。

参照 本機の操作 録音レベルの調整(P.28)

1. ディスプレイに「自動録音」が表示されていることを確認します。
「手動録音」が表示されている場合は、「録音/停止(REC)」ボタンを3秒以上押して「自動録音」に切り替えます。
工場出荷時の設定は「自動録音」です。



2. 通話が始めると自動的に録音を開始します。
録音が始まると、「録音/停止(REC)」ボタンの赤色ランプが点灯し、ディスプレイに「REC」マークが表示されます。



注意事項

録音中に本機の電源が落ちた場合は、録音データが記録されないことがあります。

3. 通話が終わると自動的に録音を終了します。
録音終了後、約5秒で待機モードに戻ります。

■録音を途中で終了する場合

「録音/停止(REC)」ボタンを押します。

録音を再開するには、再度「録音/停止(REC)」ボタンを押します。ボタンを押した時点から次の録音番号で録音を開始し、通話が終わると自動的に録音を終了します。

手動録音モード

通話中に手動で録音を開始・終了します。

■ プレ録音機能について

本機にはプレ録音機能が備わっています。

プレ録音機能により、通話途中に手動で録音を開始した場合でも、通話が始まった時点からの録音が可能です。プレ録音動作時は、「」マークが表示されます。

注意事項

- ・ 音声が高レベルで感知できない場合、プレ録音機能は動作しません。
- ・ 手動録音を開始していない状態でプレ録音機能が動作し、録音データ量が一杯になった場合、データ消去方式が「自動消去有り」に設定されていても、録音データは自動消去されずにプレ録音機能自体が停止します。
- ・ プレ録音機能動作中に無音等にて5秒間以上音声が無くなった場合には、無音後に再開された通話内容がプレ録音の対象となります。

1. ディスプレイに「手動録音」が表示されていることを確認します。

「自動録音」が表示されている場合は、「録音/停止 (REC)」ボタンを3秒以上押して「手動録音」に切り替えます。

工場出荷時の設定は「自動録音」です。



2. 通話開始時に「録音/停止 (REC)」ボタンを押します。

録音が開始され、「録音/停止 (REC)」ボタンの赤ランプが点灯し、ディスプレイに「REC」マークが表示されます。



注意事項

録音中に本機の電源が落ちた場合は、録音データが記録されないことがあります。

3. 「録音/停止 (REC)」ボタンを押すと録音を終了します。

録音データの再生

直前録音データの再生

直前に録音したデータを再生します。

注意事項

- ・イヤホンをご使用になる場合は、スピーカから音が出ません。
- ・イヤホンをご利用になる場合は、事前に再生ボリュームを最小にしておき徐々に大きくしていき最適な音量に設定してください。上記を行って頂かない場合、いきなり大きな音が出て事故の原因となります。

1. 待機モードの状態です「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

直前に録音されたデータが再生され、ディスプレイに「▶」マーク、録音番号、録音開始時の日付・時刻、録音時間が表示されます。

音量は、本機右側面にある再生音量ボリュームで調整してください。



再生を途中で終了させる場合は、再生中に「停止/クリア(■)」ボタンを押します。再生が終了すると、履歴モードのまま待機します。

2. 「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

履歴録音データの再生

履歴表示から録音データを選択し、再生します。

参照 本機の操作 録音データの履歴表示(P.27)

1. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを押します。
2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで再生するデータを選択します。
ディスプレイに録音番号、録音開始時の日付・時刻、録音時間が表示されます。
3. 「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。
選択されたデータが再生され、ディスプレイに「▶」マーク、録音番号、録音開始時の日付・時刻、録音時間が表示されます。
音量は、本機右側面にある再生音量ボリュームで調節してください。



再生を途中で終了させる場合は、再生中に「停止/クリア(■)」ボタンを押します。
再生が終了すると、履歴モードのまま待機します。

4. 「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

注意事項

再生中は、自動録音が動作しません。

再生中の一時停止

再生中に一時停止します。

1. 再生中に「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

再生が一時停止し、ディスプレイに「||」マークが表示されます。



再生を再開するには、再度「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

再生中の早送り・早戻し

再生中に早送り・早戻しします。

なお、早送り・早戻し中に音声は再生されません。

1. 再生中に「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンを押し続けます。

「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンを押し続けている間、早送り/早戻しします。

早送り/早戻し中は、ディスプレイの「▶▶」または「◀◀」マークが点滅します。



スキップ再生

再生中に前データまたは次データにスキップして再生します。

1. 再生中に「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンを押します。

「早戻し(◀◀)」ボタンを押すと、再生中のデータの先頭から再生を開始します。
ただし、再生から1秒の間に再度「早戻し(◀◀)」ボタンを押すと、前のデータ先頭から再生を開始します。

「早送り(▶▶)」ボタンを押すと、次のデータの先頭から再生を開始します。
ただし、次のデータが存在しない場合は、最も古いデータの先頭から再生を開始します。



録音データの保護

録音データを保護すると、初期化以外でのデータ消去を防止することができます。

また、データ消去方式が「自動消去有り」に設定されていても、保護された録音データは消去されません。

参照 本機の設定 データ消去方式(P.14)/データ初期化(P.19)

以下の動作状態のときに録音データを保護または保護解除することができます。

- ・録音中
- ・再生中
- ・一時停止中
- ・履歴データ表示中

1. 「保護(🔒)」ボタンを押します。

録音データが保護され、「保護(🔒)」ボタンの橙色ランプが点灯し、ディスプレイに「🔒」マークが表示されます。



■保護の解除

保護を解除するには、「保護(🔒)」ボタンを押します。

録音データの保護が解除され、「保護(🔒)」ボタンの橙色ランプが消灯し、ディスプレイの「🔒」マークが消去されます。

注意事項

録音データの保護は本機でのみ有効な機能です。本機で保護された録音データでも、パソコン上では消去できます。

録音データの消去

録音データを消去します。

ただし、保護された録音データは消去できません。

参照 本機の操作 録音データの保護(P.25)

以下の動作状態のときに録音データを消去することができます。

- ・再生中
- ・一時停止中
- ・履歴データ表示中

1. 「停止/クリア(■)」ボタンを3秒以上押します。

再生中の場合は再生が停止し、ディスプレイに「消去」が表示されて録音時間表示が点滅します。



2. 消去してよければ、「再生/決定(▶||)」ボタンを3秒以上押します。

録音データが消去され、次の録音データの履歴表示に戻ります。

ただし、次の録音データが存在しない場合は、消去した1件前の録音データの履歴表示に戻ります。

また、録音データが0件になった場合は、待機モードとなります。

消去操作以外のボタン操作をすると、消去せずに元の動作状態に戻ります。

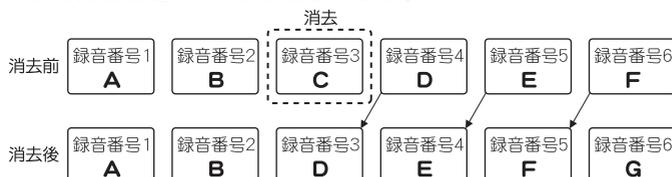
注意事項

消去された録音データを復元することはできませんので、注意して操作してください。

■録音データ消去時の録音番号について

録音データを消去すると、以降の録音番号は繰り上がって振り直されます。

下図のように録音番号「3」の録音データを消去した場合、旧録音番号「4」の録音データが録音番号「3」に振り直されます。



録音データの履歴表示

履歴表示から、録音データを再生／保護／保護解除／消去することができます。

参照 本機の操作 録音データの再生(P.22)／録音データの保護(P.25)／録音データの消去(P.26)

録音データの履歴表示方法には、全履歴表示と保護履歴表示の2通りがあります。

全履歴表示

すべての録音データが対象になります。

1. 待機モードで「履歴/メニュー(■)」ボタンを押します。
最新の録音データが表示されます。

保護履歴表示

保護された録音データのみが対象になります。

1. 待機モードで「保護(🔒)」ボタンを押します。
ディスプレイに「🔒」マークが表示されます。
2. 「履歴/メニュー(■)」ボタンを押します。
最新の保護された録音データが表示されます。

履歴表示からのデータ選択

「早送り(▶▶)」ボタンを押すと次データが表示され、「早戻し(◀◀)」ボタンを押すと前データが表示されます。

また、「早送り(▶▶)」ボタンまたは「早戻し(◀◀)」ボタンを押し続けると、データのスクロール速度が徐々に早くなり、データエンドに達すると一旦停止します。

録音レベルの調整

本機には、電話機の種類によって異なる音量レベルに対応するため、録音レベル調整機能が備わっています。

本機の再生音量ボリュームを調整しても適切な音量にならない場合や自動録音されない場合は、送話・受話録音レベルを調整してください。

ただし、電話機の種類によっては改善されない場合もあります。

電話機の種類によっては、送話音量調整(So Vol.)と受話音量調整(Ju Vol.)が逆に設定される場合があります。

下記の録音レベル確認方法を行い、録音レベルが正常でない場合は送話・受話ボリュームを調整してください。

録音レベル確認方法

1. Voice REC Padが接続されている電話機(A電話機)と通話相手となる電話機(B電話機)を用意します。
2. Voice REC Padの録音方式を自動録音に設定します。
参照 本機の操作 通話の録音(P.20)
3. A電話機からB電話機に電話を掛け通話状態にします。
内線・外線を問いませんが、通話料がかかる場合があります。
4. A電話から通常会話する声の大きさを10秒間話し続けます。
話している間、Voice RE Padの液晶画面にRECマークが表示され続けることを確認してください。
「A電話」という言葉を入れて録音しておく、再生時に判別しやすくなります。
5. B電話から通常会話する声の大きさを10秒間話し続けます。
話している間、Voice RE Padの液晶画面にRECマークが表示され続けることを確認してください。
「B電話」という言葉を入れて録音しておく、再生時に判別しやすくなります。

■RECマークの表示が正常でない場合

録音レベル確認方法の手順4.、手順5.で、RECマークが表示されない場合、または途中でRECマークが表示されなくなった場合は以下の操作を行ってください。

- ・手順4.でRECマークが表示されない場合：「So VoL」の数値を上げます。
- ・手順5.でRECマークが表示されない場合：「Ju VoL」の数値を上げます。

参照 本機の操作 録音レベル調整方法 (P.30)

何も話していないのにRECマークが表示される場合は以下の操作を行ってください。

- ・手順4.でRECマークが表示される場合：「So VoL」の数値を下げます。
- ・手順5.でRECマークが表示される場合：「Ju VoL」の数値を下げます。

参照 本機の操作 録音レベル調整方法 (P.30)

上記の設定後、再度、録音レベルの確認を行ってください。

6. 録音した通話を再生し、音声を確認します。

参照 本機の操作 録音データの再生 (P.22)

■正常に再生できない場合

RECマークの表示が正常でも再生が正常でない場合は以下の操作を行ってください。

- ・A電話の音が小さく聞こえにくい場合：「So VoL」の数値を上げます。
- ・B電話の音が小さく聞こえにくい場合：「Ju VoL」の数値を上げます。
- ・A電話の音が大きかったり、割れたりする場合：「So VoL」の数値を下げます。
- ・B電話の音が大きかったり、割れたりする場合：「Ju VoL」の数値を下げます。

参照 本機の操作 録音レベル調整方法 (P.30)

録音レベル調整方法

1. 「保護(🔒)」ボタンを10秒以上押します。

ディスプレイに「So Vol」と表示され、送話録音レベルが点滅します。



2. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで送話録音レベル(最小:01～最大:08)を設定します。

「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、待機モードに戻ります。

3. 「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

送話録音レベルが設定され、受話録音レベルの設定へ移行します。
ディスプレイに「Ju Vol」と表示され、受話録音レベルが点滅します。



4. 「早送り(▶▶)」または「早戻し(◀◀)」ボタンで受話録音レベル(最小:01～最大:08)を設定します。

「停止/クリア(■)」ボタンを押すと、送話録音レベルの設定に戻ります。

5. 「再生/決定(▶||)」ボタンを押します。

送話録音レベル・受話録音レベルが設定され、待機モードに戻ります。

パソコンの操作

パソコンの環境

- OSは、Windows2000・WindowsXP・WindowsVistaに対応しています。
Windows2000・WindowsXP・WindowsVistaは、マイクロソフト社の登録商標です。
- パソコンでSDカードを使用するためには、SDカードスロットが必要です。
パソコンにSDカードスロットがない場合は、別売りのSDカードリーダーアダプタなどをご購入ください。

SDカードのフォーマット

他の機器で使用したSDカードは、パソコンでフォーマットする必要があります。また、本機で使用したSDカードや新しく購入したSDカードは、本機で初期化できますが、パソコンでフォーマットすることもできます。

1. SDカードをパソコンのSDカードスロットに挿入します。
2. SDカードを「FAT16」または「FAT」でフォーマットします。

注意事項

- 保護された録音データも含め、すべてのデータが消去されますので、必要なデータはあらかじめ他の記憶媒体にバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットすると、時刻などの設定内容は消去されませんが、「再生禁止」のパスワードはSDカードに記憶されているため、消去されません。

パソコンへのバックアップ(録音データ保存)

本機で録音したデータは、パソコンへバックアップ(データ保存)することができます。

SDカードの故障や寿命により、録音データを失う場合があります。大切な録音データを失わないためにも、定期的なバックアップをお勧めします。

1. 録音データが記憶されたSDカードをパソコンのSDカードスロットに挿入します。
2. Windowsエクスプローラで、SDカード内の「VRP」フォルダをパソコンへコピー(保存)します。
SDカード内のコピー元録音データが不要な場合は、削除してください。

パソコンでの録音データ再生

SDカードからパソコンへコピーされた「VRP」フォルダ内のファイルをパソコンで再生することができます。

注意事項

- 本機の録音モードが「PC再生用」で録音されたデータ(拡張子が「.wav」のもの)のみ、パソコンで再生することができます。
- 本機で保護した録音データをパソコンにコピーした場合、パソコン上では保護されません。録音データの保護は本機でのみ有効な機能です。よって、本機で保護された録音データでも、パソコン上では削除できます。
- パソコンの機種、ソフトウェア等により再生できないものもあります。

参照 本機の設定 録音モード (P.13) / 本機の操作 録音データの保護 (P.25)

パソコン内に保存されている「VRP」フォルダをSDカードにコピーして、本機で再生することもできます。

注意事項

- 本機以外で録音されたデータを本機で再生することはできません。
- パソコンからSDカードへコピーする録音データはパソコンでファイル名などを変更しないでください。

参照 本機の操作 録音データの保護 (P.25)

付録

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の症状と確認事項をご確認ください。
それでも症状が解消されない場合は、販売店もしくは代理店までご連絡ください。

症状	確認事項
ディスプレイが映らない	ACアダプタがコンセントから抜けていませんか？
	DCジャックが本体から抜けていませんか？
録音できない	SDカードが本体に挿入されていますか？
	電話機と本体がモジュラーで接続されていますか？
	SDカードの残録音時間の表示は「FULL」になっていませんか？
	電話機に電話線(回線)は接続されていますか？
再生できない	再生音量ボリュームが最小になっていませんか？
	再生禁止モードになっていませんか？(P.15参照)

エラーコード表

ディスプレイにエラーコードが表示されたら、下記の内容と対処方法をご確認ください。

エラーコード	内容	対処方法
ERR1	SDカードが認識できません	SDカードをフォーマットしてください。フォーマットできない場合は、SDカードの故障や寿命の可能性があるので取り替えてください
ERR2	SDカードでの再生や録音に失敗しました	SDカードの故障や寿命の可能性がります。SDカードを再度フォーマットするが、SDカードを取り替えて、再生・録音操作をしてください。
ERR3	時刻・設定等のデータが消えました	内部のバックアップ電池が消耗している可能性があります。販売店・代理店へご連絡ください。

ERR1とERR2が表示された場合は、履歴ボタンを長押しすると、SDカードフォーマット画面に移行することができます。

仕様

■ 一般仕様

外形寸法	180(W)×245(D)×15(H)mm (突起物を除く)
重量	約500g
設置方法	据置型(録音対象電話機の下部に設置)
録音記録時間	通常:約17時間、長時間:約34時間、PC再生:約8.5時間 (256MB SDカード使用時)
録音音声入力方式	受話器
録音記録方法	自動/手動
録音件数	5000件
再生	内蔵スピーカ/イヤホンジャック
ディスプレイ	液晶
記録媒体	SDカード(256MB付属)取り外し可能

■ 電気的仕様

電源	ACアダプタ使用 入力:AC100V±10% 50/60Hz±10% 出力:DC6V 1000mA
消費電力	50VA以下(1台での消費電力)
動作温湿度	温度:0~40℃ 30~95R.H.(結露なきこと)
保存温湿度	温度:-20~60℃ 30~90R.H.(結露なきこと)

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

製品保証規定

保証内容

ご購入後 1 年以内に、取扱説明書などの記載内容に従った正常な使用状態で、万一本製品が故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき本製品を無償修理または交換いたします。

故障状況によっては修理期間が長くなる場合があります。また、修理内容によっては新品と交換する場合があります。あらかじめ御了承願います。

無償補償範囲

本製品が故障した場合、保証書に記載された保証期間内において、お客様は無償修理を依頼することができます。

ただし、下記の場合、株式会社レッツコーポレーション（以下、弊社）は無償修理を承れません。

- (1) 修理ご依頼の際、保証書の提示または送付時に添付のない場合
- (2) 保証書に販売店名ならびに購入年月日の記載がない場合
- (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合
- (4) 弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合
- (5) 故障した本製品をお送り頂けない場合
- (6) 弊社が動作の保証を指定した機器以外で使用したために生じた故障または破損
- (7) お客様の過失により本製品に生じた故障または破損
- (8) 弊社以外での分解、修理、改造により生じた故障または破損
- (9) 火災・地震および風水害などの天変地異、静電気等の異常な電圧などの外的要因により生じた損傷または故障
- (10) お取り扱い上の不注意（取扱説明書の記載内容を遵守しないなどの誤動作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿や化学薬品の入った場所での保管など）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障または破損
- (11) 消耗部品の自然な消耗・劣化により生じた故障または破損
- (12) 輸送中の振動・落下により生じた故障または破損
- (13) 本製品に付帯している付属品類
- (14) 一般事務用以外（航空・船舶への搭載など）での使用による故障および破損
- (15) 故障の原因が本製品以外（電源、他の機器など）にあって、それを点検、修理した場合
- (16) 取扱説明書に記載のない操作により生じた損害などの付随的損害の補償
- (17) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合

製品保証の制限

製品に対する保証は前記の範囲に制限されます。

本製品の認証の漏洩に起因する付属的損害の補償には応じられません。

本製品の動作に関する情報の漏洩に起因する付属的損害の補償には応じられません。

有効範囲

本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証書			
通話録音装置 Voice REC Pad 保証書 (製造番号)			
お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は本書を提示の上、代理店もしくは販売店にご連絡ください。			
機種型名: VRP-1	保証期間: お買い上げ日	年	月 日より1年間
お客様名	電話	-	-
ご住所 〒			
販売店名	電話	-	-
ご住所 〒			
株式会社 シツツ コーポレーション			
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目18-20 (坂長ビル)			
TEL: (052) 201-6230			

株式会社 **レッツ** コーポレーション

株式会社レッツコーポレーション <http://www.lets-co.co.jp/>

本社／〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目6-10（レッツ丸の内本社ビル）

TEL (052)201-6230 FAX (052)201-5050

東京営業所／〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目19-3（銀座竹葉亭ビル）

TEL (03)3546-0889 FAX (03)3546-0941